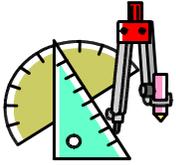


## 第 1 学年算数科 年間学習計画

### 目標



- (1) 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにします。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。
- (2) 具体物を用いた活動などを通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにします。
- (3) 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにします。
- (4) 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにします。

### 年間学習計画

学期	単元名	学習内容
前 期	○ななまづくりとかず	<ul style="list-style-type: none"> <li>○条件にあった集合をつくったり、集合の条件を考えたりする。</li> <li>○多い少ないを理解する。</li> <li>○同じ個数の集合を見つける。</li> <li>○1～10の数字の教え方、書き方を理解する。</li> <li>○1～10の数の代償比較をする。</li> <li>○0の学習</li> </ul>
	○なんばんめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「前から4人」と「前から4人目」の違いを正しくつかむ。</li> <li>○上下・左右の順序の表し方を理解する。</li> </ul>
	○いくつといくつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玉落としゲームやさいころ・おはじきを使って5～10の数がどのように分かれるか調べたり、数の構成を考える。</li> </ul>
	○あわせていくつ ふえるといくつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「あわせる」「たす」「ふえる」場面を加法として理解し、記号「+」、「＝」を用いて式に表す。</li> <li>○たしざんカードを使って計算の練習をする。</li> <li>○絵本の作り方を理解し絵本を作り、できた絵本で友だちにお話をしてあげる。</li> <li>○0の入った加法の練習をする。</li> </ul>
	○のこりはいくつ ちがいはいくつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「のこり」「ひく」「ちがひ」を求める場面を減法としてとらえ、「－」「＝」を用いて式に表し、答えを求める。</li> <li>○10以下の2数の減法の練習をする。</li> <li>○場面の变化を絵本に表す方法を知り、絵本作りに取り組む。</li> </ul>
	○10よりおおき いかず	<ul style="list-style-type: none"> <li>○11から20までの数の唱え方、書き方を知り、練習する。</li> <li>○数直線を使って数を表せることを知り、数の大小を判定し、20までの数を順序よく並べる。</li> <li>○10と1位数の加法減法をする。</li> <li>○2位数と1位数の加法減法をする。</li> </ul>
	○なんじ なんじはん	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時刻をよんだり、かいたりする。</li> </ul>
	○どちらがながい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○曲がっているものの長さを比べる方法を考える。</li> <li>○はがきや本の縦と横の長さを比べる方法を考える。</li> <li>○ものの長さをテープを用いて取り出して比較する。</li> </ul>
	○3つのかずの けいさん	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3つの数の加減計算をする。</li> </ul>
	○どちらがおおい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りにあるもののかさを直接比較・間接比較する。</li> <li>○任意単位を使って、身の回りにあるかさを数に表す。</li> </ul>

後 期	○たしざん	○繰り上がりのある計算で、10のかたまりを作るために、たす数を分解すればよいことを知る。 ○加数分解よりも逆の方が簡単であることに気がつく。 ○被加数分解の場合の計算の練習をする。 ○いろいろな方法で繰り上がりのある加法計算の練習をする。 ○加法適用の文章題をよみ取り、式と答えを求めろ。 ○カードを使って計算練習をする。 ○文章題を解決する。
	○かたちあそび	○身の回りにあるものの形を特徴別に分類する。
	○ひきざん	○一の位からひけないときは、10のかたまりからひけばよいことを知る。 ○減加法や減々法などで、繰り下がりのある減法の計算練習をする。 ○減法適用の文章題をよみ取り、式と答えを求めろ。 ○カードを使って計算練習をする。 ○文章題を解決する。
	○どちらがひろい	○わかりやすい比べ方を考えて広さ比べをする。 ○操作活動を通してかさ比べをする。
	○おおきいかず	○カードの上にブロックを置いて、それを集めて10のかたまりを作って数える。 ○ブロックを使って、2位数の構成について確かめる。 ○「99とあと1つ」「10が10こ」で100であることを知る。 ○0から100までのカードを作って順序よく並べる。 ○数直線を使って調べる。
	○なんじなんぷん	○時刻をよんだり、かいたりする。
	○ずをつかって かんがえよう	○図を使って、加減計算の仕方を考える。 ○加法を使って、求大する。 ○減法を使って、求小する。
	○かたちづくり	○色板を使って、形を構成する。 ○色板で作った形をもとに数え棒を使って、いろいろな形を作る。
	○ばしょをあらわ そう	○絵を見て、ロッカーの位置の表し方を考える。 ○絵を見て、ロッカーの位置について問題をつくる。
	○1年の ふくしゅう	○既習の加減計算の練習をする。 ○1年間のまとめ

### 評価について

- 数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととする。  
(算数への関心・意欲・態度)
- 算数や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみ、考え表現したり工夫したりしている。(数学的な考え方)
- 整数の計算をしたり、身の回りにある量の大きさを比較したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり読み取ったりするなどの技能を身につけている。(数量や図形についての表現・処理)
- 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方および整数の計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。  
(数量や図形についての知識・理解)

※授業中の行動の様子(つぶやき・発言・作業・ノート)などで評価していきます。  
単元ごとに行うテストやプリントなどで評価します。